



でも、水流は現れない。草付の中を尾根から45分下って、ようやく水流が現れた。

水流にそって下り始めたところで、3mの小滝。左岸を下る。このあともう1つ2mの小滝が現れただけで、左俣は終了となってしまった。(記)

[タイム] 左俣下降開始(11:15)→下降終了(12:30)

クワ沢中俣 1992年7月26日

8時15分遡行開始。初めから沢は小さかったが、水量は豊富である。小滝2つを越えて、20分程の遡行で右俣出合。目的の中俣は小さなナメとなっている。現在地がいまひとつはっきりしなかったため、右俣に少し入って確認した後、中俣に入る。

小さなナメを越えると滝が出てきた。4m。右岸を登る。滑りやすくて苦労した。このあと少しずつ間隔を置きながら10m3段の滝のほかいくつもの小滝が出てくるようになる。なかにはホールドが少なかったり滑りやすいものもあるが、すべての滝が直登可能である。小さい沢だが、なかなか面白い。

源頭はナメから急峻なルンゼとなり、最後は灌木帯に突っ込んで、終了となる。遡行終了10時20分。このあと急峻な小尾根のヤブこぎ30分で稜線へ。

最後のヤブこぎの最中、小沢をへだてた向いの尾根に、ニホンザルの群れをみつけた。5頭が確認できたが、樹林帯の中にまだ何頭かひそんでいたようである。登りついた尾根上には、随所に赤布がつけられていた。はっきりした踏跡はないが、結構歩かれているようである。(記)

[タイム] 遡行開始(8:15)→右俣出合(8:35, 9:10)→中俣終了(10:20)→尾根(10:50)